

平成16年度 都市景観大賞「美しいまちなみ賞」受賞地区概要

「美しいまちなみ大賞」

地 区 名	応 募 者
恵み野地区	<ul style="list-style-type: none">・恵み野花のまちづくり団体連合会・恵庭市
南町地区	<ul style="list-style-type: none">・温泉中央南線(山中温泉ゆげ街道)街なか再生・目抜き通り整備協議会・石川県山中町
うだつの上がる町並み地区	<ul style="list-style-type: none">・町並み景観保全委員会・美濃市

「美しいまちなみ優秀賞」

地 区 名	応 募 者
横浜市緑園都市住宅地区	<ul style="list-style-type: none">・緑園都市コミュニティ協会・横浜市・相模鉄道株式会社
金沢村の里浅野川通り ・杜の里通り沿道地区	<ul style="list-style-type: none">・金沢市杜の里まちづくり委員会・金沢市・株式会社アスリック
門真市石原東・幸福北地区	<ul style="list-style-type: none">・門真市石原東・幸福北地区共同整備事業組合・門真市
りぼんシティオ那珂川地区	<ul style="list-style-type: none">・美野島校区まちづくり協議会・福岡市

「美しいまちなみ特別賞」

地 区 名	応 募 者
岩出山町南町地区	<ul style="list-style-type: none">・南町商店街事業協同組合・宮城県岩出山町・宮城県古川土木事務所
ガーデンヴィレッジ平尾台地区	<ul style="list-style-type: none">・ガーデンヴィレッジ平尾台管理組合・北九州市・みくに産業株式会社

【審査委員長 中村 良夫 東京工業大学名誉教授 総評】

大賞を受賞した恵庭市の「恵み野地区」は、花と庭をテーマにした美しい住宅地デザインだ。オープンガーデンとして開放された庭や窓辺の花を賞める「花探偵団」によるコンテストが楽しい。セットバック空間に市民参加で花が植えられた一部の幹線街路については、裏通りから車がアクセスするように工夫されている。人生を楽しむ市民のリーダーシップが見事に開花した町である。団地の中に農業用水をゆらゆらと流した長い帯状の公園は、応募の目玉ではないが、町に潤いを生む素晴らしい都市骨格をつくった。

拡幅、無電柱化、セットバックと緑化などの街路整備に加えて、更新された沿道建築のデザイン、ファサード修景、曳き家による保存活用などの他、業種・業態のプランなどを景観条例の枠組みによって行った山中町の「南町地区」は、観光活性化への寄与が評価された。街路敷だけでなく、沿道建築へ思い切って立ち入った点が見どころである。デザインの質については議論もあったが、臨機応変にきめ細かく工夫している点に好感が持てる。

美濃市の「うだつの上がる町並み地区」は、貴重な景観資産を生かした伝建地区の町並みデザインが、いよいよ本格化したことを中心強く感じさせた秀作であろう。

大規模で立地にも恵まれた重要プロジェクトへの挑戦として評価されながら、審査員の意見が分かれ、受賞を見合せた事例もあった。外部空間の形、テクスチャ、スケールのまとまりに説得力を欠き、どこかよそよそしく、文化としての体温が低いように感じられたのがその理由である。全体として市民の息遣いの聴き取れる小プロジェクトに佳作が多かったのに対し、規模が大きくなるにつれて、人間の身の置き所をうまく設いかねているくらいがある。今後の精進に期待したい。

「コレヲ知ル者ハ、コレヲ好ム者ニ如カズ。コレヲ好ム者ハ、コレヲ樂シム者ニ如カズ。」といういにしえの聖人の言葉は、そのまま町づくりの極意ではないか。町づくりに求められるのは、都市とともに生きる人生の意味を掘り下げる事であって、それは、生産効率ではなく創造性の世界である。ありていに言えば、無私な道徳精神によってこそ、町なみは景観という魂を吹き込まれるのである。

今回はインターネット投票によって、多くの市民のご意見を参考にすることができた。国民的熱気を感じながらの審査となった。